

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	教育実習事前及び事後の指導（幼稚園）		
担当者(Instructors)	武 寛子, 渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)
実習事前準備と実習終了後の事後指導として実習経験の省察を行う。それは自己課題を明確にする目的である。事前準備内容は、実習の意義と目的と方法の概要を学ぶ。実習の心構えを身につけ、実習園を研究する。幼児の観察方法、指導案の作成、クラス経営・教師の援助・配慮の方法等を学ぶ。教育実習の事後指導では教育実習の成果を実習の記録から分析し、前期実習についての省察し自己課題を明確にする。前期の課題解決策の意見を見出し、後期実習の目標を明確化し、計画案を準備する。実習計画に照らして教材研究を行い、指導計画を作成する。自己課題の視点を確認して実習に臨み、後期実習終了後に実習全体を通じた総合的な省察をおこなう。なお、オンデマンド授業となった場合の質問等の受付については、授業内に指示する。

■授業形態・授業の方法(Class form)	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	幼稚園における教育実習の実施に直結する内容を、演習形式で展開する。教員2人によるチームティーチングで実施する。各回の内容に応じた課題・提出物を課す。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	教育実習の意義と目的 実習に必要な書類・事務手続き	・「社会人となる」→「体験から学ぶ」「子ども理解」「援助」の観点 ・実習課題「実習にあたって」、個人票、実習日誌、等の事務手続き	☐
第2回	教育実習とは一全体の過程と養成課程での位置づけ 実習の心構えを身につけ、実習園を研究する。	・観察・参加・部分実習の3段階の流れを理解する ・実習不安は「子どもと一緒に遊ぶ」保育実習を目指す	☐
第3回	子どもを理解する ・実習記録の意義と書き方	・幼児の発達の特徴を、健康や言葉、人間関係などの面から理解・記録する ・幼児の観察が、指導案作成、クラス経営・教師の援助・配慮の方法等を学ぶための基本であり、子ども理解であることを知る	☐
第4回	幼稚園を理解する ・オリエンテーションの内容 方針、教育内容の理解	・幼稚園教育方針、施設、時間、教育課程などの点からその概要を研究 ・電話のかけ方・オリエンテーション内容と注意・配当年齢と部分実習	☐
第5回	幼稚園の特徴と仕事内容	幼稚園の先生の基本の姿を知る	☐
第6回	教材の研究の確認（多様な園課題） ・年齢や発達に合わせた教材利用の保育実技 ・園独自による課題曲、季節の歌	・子どもの生活や心を豊かにする子ども主体の保育実技 ・教材選択・園長、主任、クラス担任との相談	☐
第7回	保育実技を部分実習へ ・指導計画の意義	・自由遊びとクラス主活動 ・歌あそび、手遊びと絵本、シアターなど視覚教材の紹介	☐
第8回	指導計画の意義を知り一日実習指導案の作成 ・4歳児（3，5歳児の立案想定）	指導計画を書く意義とその内容、立案構成を理解する	☐
第9回	指導計画の作成（１）①一部分	部分実習の指導案を実際に作成する	☐
第10回	指導計画の作成（１）②一部分指導案の検討	作成した指導案をグループワークで相互に検討し合う	☐
第11回	指導計画の作成（２）①一全日指導案の作成	全日実習の指導案を実際に作成する	☐

第12回	前期実習の省察	・前期実習の成果と問題点 ・グループワーク後、報告会 ・後期実習の目標を明確化し計画案へ	☐
第13回	後期実習目標と計画案 ・自己課題の視点を確認	・目標の明確化と計画案準備 ・教材研究を行い作成・指導案をグループワークで相互に検討する	☐
第14回	事後指導 ・自己課題の明確化	・教育実習の成果を実習の記録から分析し、省察・課題の発見する ・実習日誌のまとめ、園評価と自己評価、個別面談による確認する	☐
第15回	後期実習の課題	後期実習に向けた課題をグループワークで相互に検討する	☐

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)
実習にあたって書類の準備、実習中に必要な教材研究や指導の立案など、課題に即した事後の学習（書類作成・教材研究・立案）を行う（2時間）。予習として、次の内容に関するテキスト該当ページを読んで理解しておく（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)
実習にあたって書類の準備、実習中に必要な教材研究や指導の立案などを課題として提示する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	幼稚園教諭に必須の知識と基礎的・実践的な技能を身につけ、活用できる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	現代的な課題に幼稚園教諭として向き合える思考力・判断力をもち、豊かな表現によって発信できる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	多様な人々のなかで自己を理解し、主体的に他者と協働して課題解決を図ることができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)				
授業内課題（70）保育教材・指導案・記録練習・実習計画書・その他提出物。実技試験（30）実習報告スピーチ。				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	小櫃智子・守 巧・佐藤 恵・小山朝子著『幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド』わかば社	978-4907270193
2	小櫃智子 編著『実習日誌・実習指導案パーフェクトガイド』わかば社	978-4907270155
3	文部科学省『幼稚園教育要領解説』	
4	文部科学省『幼稚園教育要領』	
5	北大路書房『新保育ライブラリ 保育の現場を知る 幼稚園実習』	

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN (ISBN)
1	映像で学ぶDVD「指導案」「日誌」の書き方	
2	流れがわかる幼稚園・保育所実習一発達年齢、季節や場所に合った指導案を考えよう	
3		
4		
5		